



不登校対策について



湖南市公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

不登校対策について

問 ふれあい相談室では少人数で個に寄り添った取り組みをしているが、WiFi環境が整備されていないことについて。

答 本市の財政状況等をふまえながら研究・勘案していきます。

問 フリースクール利用についての助成金は市役所へ申請して年度末に一括になっている。保護者の経済的・物理的負担を鑑み、何度かに分け学校での申請など工夫できないものか。

答 支払いの細分化は、保護者の経済的な立て替え負担を軽減することになると受け止めています。申請手続きの簡素化やわかりやすい案内に努めるなど工夫をしていきます。

問 湖南市内にフリースクールは存在しない。助成の対象に交通費も含めてはどうか。

答 限られた財源の中

で本市の不登校対策を効果的に進めるためには、まずは全ての児童生徒が通う学校現場における支援体制の強化が最優先であると考えています。

問 不登校児童生徒の増加に対して更に不登校についての強化体制が必要ではないか。例えば不登校連絡協議会単体でも必要ではないか。

答 本市において不登校児童生徒への対応には、特別支援教育の視点が極めて重要であるという認識のもと、一貫して総合的な支援を行ってきました。近年の不登校が様々な要因が複雑に絡み合っており、増加しているという時代の変化に対応するため、不登校における課題に組織的・多角的に対応する体制へ進化し、不登校対応と特別支援教育の視点の両輪で一体的な支援を進めています。



湖南市内道路及び湖南市道路整備計画について



湖南維新の会 ● 東良 一成 議員

石部口交差点周辺の道路について

問 横断歩道橋下に横断歩道を設置できないか。

答 横断歩道橋の昇降が利用者の負担になっていることは認識しています。市としましては、直ちに設置を求め、状況にないと考えています。今後の通行状況や皆さまの声を注意深く見守り、必要に応じて道路管理者や公安委員会へ情報共有に努めます。

菩提寺鶴ヶ下交差点周辺の道路について

問 児童・生徒の安全確保、渋滞緩和の観点から横断歩道橋の設置はできないか。

答 様々な要因を総合的に勘案し道路管理者が設置判断をします。周辺開発に伴う交通状況の変化に注視し、引き続き児童をはじめと

する道路利用者の安全確保を第一に道路管理者や公安委員会へ情報共有を図っていきます。

市内道路・歩道の草木について

問 湖南市独自の取り組み、草刈りパートナー事業はどのようなものか。

答 市が管理する道路や公共用地において、草木の繁茂による、通行環境や景観悪化といった課題を市民の皆さまと市が協働して維持管理を行う仕組みです。

草刈りパートナー事業の周知方法は。

答 「広報こなん4月号」に掲載すると共に、市ホームページにおいて制度の概要や参加方法などを案内していきます。